京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

韓國人物評（一）

片々生

▲李完用内閣　總辭職朴齋純新内閣を組織する云々の説は一時大に眞らしく吹聽せられたが、今や一場の夢物語となつて完用内閣は依然として現狀を維持して居る、彼の軍部廢止司法權委任の談判の際は李完用君も或は辭任を仄めかして反對の態度を取つたかも知れぬ、が素々彼には眞に辭任の決心は無かつたのだと云ふ者もある、或は然らむ、併し彼は機を見るに頗る敏なるを以て早くも大勢を看破し此機に應じて自己の立場を鞏固にしたのであると云ふ者もある、或は然らむ、要するに彼は韓國政治家中に於て最も秀でたる人物である、頭腦明晰にして事物を透見する識あり、膽力も亦大にして時に其畫策には驚く可き者がある、然れども兎角國民に對する信望を缺く、三年有餘に亘る彼の内閣は韓民の倦む所となる、從て現内閣の施設には韓民悅服せざる傾きがあると云ふ、此際新内閣を組織して人心を新にすることは爲政上必要である。

▲新内閣を組織　するとせば何人を以て首相とするが適當であろふか、吾人は素より韓内閣に重きを置かぬ、何人が首相たるも大なる注意を拂ふものに非ず、唯統監の命令を從順に奉ずれば可なりとの説を持つて居るが、併し同じ内閣を組織するならば人民が敬意を拂ふて心服すべき人物を以て組織するが得策であろうと思ふのみである夫れ則ち我保護政治を遂行するに於て最も肝要の事であらふと思ふ、然らば如何なる人物が適任なるか、其候補たるべき二三の人物を比較評論するも強ち無益にあらざるべきか　（未完）

●釜山港より

山道叶川

▲柳江兄足下　病母の危篤續いて訃音に接する吾は宛から夢心地の裡に匆忙行李を整へ友情深き諸兄に見送られて南大門驛のプラットホームに訣別を告げしは昨夜の十時四十分なりき、常には早しと思ふ汽車も心急く今日の我身には恰かも牛歩の心地するぞ訝かし、檻よと車室の一隅に身を横へたる吾は眠りもやらず、千万無量の感涌出して小さき胸は唯涙と闘ふのみ、同行の妻も姪も其悄然たる姿、活氣なき話聲確かに吾と感を同ふせしならん。

汽車は何時しか釜山港に着きぬ、嗚呼、吾は何等樂しみなき郷土に向つて唯失望と悲しみとを以て今や釜山の埠頭に心を急がせつゝあり、思へば昨朝韓京を辭せし亞川も吾に劣らぬ悲みの裡に今や馬關の埠頭に旅路を急ぎつゝ居るならん。

煩悶に煩悶を重ね不幸に不幸を纍りたる吾は力なく車窓に倚りて此稿を草す、文章錯雜其意又通せざらん、幸に推察あれよ、尚ほ貴紙を利用して見送りを忝ふせし諸君に謝する事を得せしめよ（十六日朝）

講談

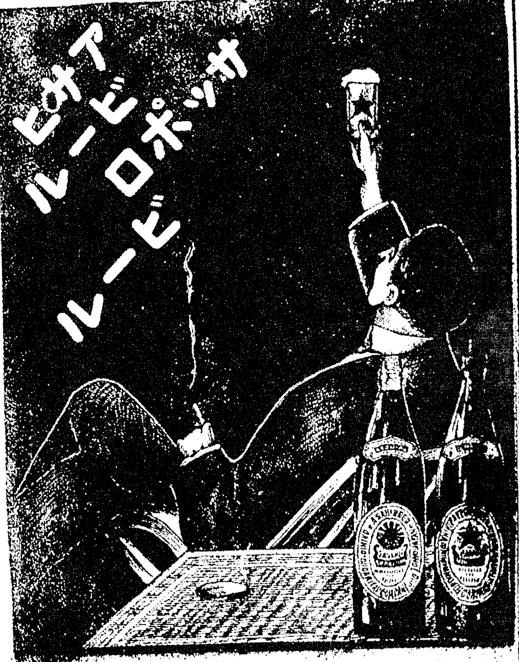
中山大納言

第三席　桃川燕玉演

さあ斯うなると本所深川、淺草本郷下谷などゝ云ふ到る處に貧乏人が集つてぞろ〳〵打壞しを始める、少しでも工面の好い人達はいや、どうも大心配、下手をまご付けば打殺されてしまふ、財産は皆貧乏人に持つて行かれると云ふ江戸中貧民がまるで起り立つた、兩町奉行がどうすることも出來ない老中牧野越中守から十組の加役、與力七十人同心三百人を呼出して『早々此貧民を鎭めまする樣、町方騷がしき趣相聞ゆるに依つて、組の者を召連れ今日から市中を相廻り、亂暴者を召捕り町奉行へ相渡すべし、尤も手に餘り候はゞ斬捨て候とも苦しからず候間、其旨心得らるべく候』と云ふ仰せ渡されで、是れから町々へ出張を致しましたが、到る處に貧乏人が益々盛んに集つて、與力も同心もどうする事も出來ませぬ。されば徳川の瓦解を致しまする少し前に、東京がまだ江戸と云つた時分、打壞しがございました、年寄の御方は御存じだがどうも大層な事でございましたが、どんと其れと同じ事、江戸の市中到る處打壞し騷ぎ、實にどう有樣。六月八日關東御郡代伊奈半左衛門忠尊と云ふ人を將軍御前へ御召出しになつて此人は大層評判の好い人『其方は萬事物價



れたる者である、早々市中の窮民を助け騷動を鎭めますやう……』と半左衛門『上意畏まり奉りまするが、只今迄の與力同心を退けまして新に其人を選びませぬければ御請は仕り難く、私如何樣に思ひましても他役人がぞべら〳〵と致した衣類を着致し何分私の指圖を用ゐざるやうではとても相勤め兼ねます、私存寄りの通り仰付けられますれば御請致しまする』『將軍家殊の外御感心に相成つて『其方申す所尤もの次第、諸事心の儘に取計らうやうに』と云ふ。即刻御小姓番頭格に御召出となつて、從五位下攝津守に任ぜられ一『近年不作打續き世上米穀拂底に及び四民難儀候に付其方常々御用向手廣く相勤め慣れ候家筋に付右扱ひ方執行仰付らる依て御小姓組番頭格被仰付候』と云ふ申渡でございました、こゝで伊奈半左衛門が今迄の與力同心をどし〳〵免職をさして仕舞つて其中から鑑にかなひましたる者一人々々選み出した、デ同月の十一日江戸町々の名主町年寄を呼集めまして、淺草の廣小路、上野の廣小路、中橋の廣小路などゝ云ふ諸方の空地に於て貧乏人へ御救米と云ふのを下さる半左衛門御自身其處へ立出でまして貧民に向ひ是から諸國の米穀を江戸表へ集め代價を下落致させ、其方共暮し方宜しき樣致し遣はし尚又是までの御運上も相止める樣取計らひ遣はすに依り汝等能く〳〵神妙に致し家業を出精仕つる樣に決して心得違ひを致してはならぬからと子供に言ひ含めるやうに物柔かに半左衛門が言つて聞かせると、窮民一同涙を流し『有難い仕合せに存じます、御慈悲は忘れは致しませぬ、有難うございます』と云つてオイ〳〵聲を揚げて泣く者がございます、されば忽ち此江戸の騷動がピッタリ熄んだ。今迄の役人が權柄づくに打つの斬るの突くのと云ふからなか〳〵貧乏人が言ふことを聽きませぬが半左衛門のは御救米を下すつて、其上諸國の米を江戸へ取寄せて汝等の暮し方の付くやうにしてやると云ふ、之が爲に忽ち諸方の騷動がピッタリ止まつた、所で諸國の米をどん〳〵江戸表へ集めまして、市中の人口を數へ、一人に付玄米一合皮麥五合づゝと云ふものを下さる、デまあ一時急場を凌ぎまして、此騷動が穩かになつたのは伊奈半左衛門の働きだ。と十代將軍家治公御他界となり、一ツ橋刑部卿治久の御公達豐千代丸樣と仰しやる、此御方が十一代の將軍に御直りになつて之を家齊公と申上げる。まだ御幼年で居らつしやる。そこで然るべき天下の補佐役と云ふ者がございませぬければ、なか〳〵治まつて行くものでない。デ水戸殿が松平越中守樣に御賴みになつた『どうか其許老中を勤め、將軍を補佐致して貰ひたい』越中守が『手前の家は老中を勤むる家柄でない、甚だ迷惑、御免を蒙る』水『尤もの次第だが、天下國家の爲め、將軍御幼弱にして御身ならでは天下の政務を司る者はない、御苦勞だが何分共に賴む』越『左樣か、然らば手御家來吉村又右衛門に一應相談を仕つて御挨拶を致さう』御歸りになつて此吉村又右衛門と云ふ者を御呼出しになつた。



同盟罷工

今回の韓美電鐵同盟罷業は會社側に於て如何なる理由を附して辯明するとも、其曲の會社側にあることは何人と雖も之を認むる所なり、假令僅に二三日なりと雖も交通機關を休止して公衆に不便を與ふるが如きは甚だ非也、韓美電氣會社は宜しく從事員の保證金を返附し、且つ相當の賞與金を與ふるは當然の事なり、渠等從事員は正當に之を請求するの權利を有するものと云はざる可らず。

全體韓國の如き土地柄に於ては資本の放下比較的少額なるを以て、從來行政に於ても常に資本に重きを置き、資本の少き所に於ては其資本を有する者の地位を安全ならしめ、安心して資本を放下せしめんとすれば、資本に特別の保護を與ふることは素より至當なり、然れども之と同時に勞働者なるものを全く不利益の地位に立たしむ可からず。[illegible]

何となれば假令勞働者に多少の缺點ありとも、余輩は決して之に與みする能はざる也。[illegible] 勞働者が極端なる資本者の壓抑と戰ふには之に依るの外なし、同盟罷工は彼等の武器にして [illegible] 京城に於ては今回の如き組織的同盟罷業は始めてなりと雖も、要は日本人側に熟練職工の同盟罷業もありたり、若し資本者の不當に勞働者を壓抑するが如き事あらば、今後も斯る同盟罷業を見るに至らん [illegible]

……偶々韓美電鐵の禍を招き社會公衆も亦損害を受けたるが、從事員の側に止らず、工業を営む者は宜しく從事員を使用する者と共に注意し、勞働者に對する待遇に注意を拂はざる可らず。

桑港電報

▲金門銀行破産　本邦實業家に密接の關係を有し横濱市に支店を有する桑港金門銀行は經營困難の爲め遂に破産せり（廿日東京電報）

東京電報

▲伊藤公の入京　伊藤公は二十日入京したるが宮中よりは特に元帥の待遇を賜はり近衛步兵一個大隊騎兵一個小隊を差遣して新橋停車場に差遣はされたる外桂首相以下在京朝野貴顯の出迎あり頗る盛なり

▲伊藤公の伏奏　伊藤公は入京後直ちに參内闕下に伏奏し後隨員と共に午餐を賜はりたり

▲各地暑氣熾烈　頃日來暑氣甚だしく各地暑氣九十二度より九十九度に上り演習中の兵士七十名日射病に罹り内七名は死去したり

▲伊公大磯歸着　伊藤公は二十日午後大磯に歸着したり皇太子代理西園寺侯其他官民數百名出迎へたり

▲韓國鐵道經營　憲政本黨は本日韓國鐵道經營に關し協議會を開きたるが其の結果韓國鐵道を滿鐵に移すか第二南滿鐵道會社的組織となす等に關し協議討究する事に決せり

▲司法權委任發表　司法權委任に關する日韓協約は伊藤公伏奏の上更に臨時樞密院會議を開き諮詢を經て發表する筈なるべし（廿一日午後日韓同時發表）（廿日午後二時發）

雑報

●梨本宮御入京　梨本宮同妃殿下は豫定より遲るゝ一晝夜二十日午後一時無事仁川に御上陸同地官民の奉迎を受けさせられ御休憩の後午後四時十五分仁川停車場發特別列車にて同五時十五分南大門驛に安着あらせられ統監邸に成らせられたり而して之より先、曾禰統監代理石塚總務長官、小松外務部長、從竹秘書官を從へ其他日高内大臣秘書官大久保軍司令官、宇佐川東拓總裁、村田武官、明石參謀長、大屋鐵道長官、松井警務局長、若林警視總監、三浦理事官、飯田警察部長、熊谷民長、中村會頭等は仁川迄御出迎ひ申し上げしが停車場には首李相始め各部大臣各次官以下日韓文武官の重なるも各戸には國旗球燈を掲揚し整齋に奉迎したり又沿道の民間有志者及び學校生徒等奉迎し又沿道の民間有志者及び學校生徒等奉迎したり因に兩殿下には仁川御上陸後午後二時日本公園を御巡覽被遊れたる由

●法權實行時期　報道せし如く今回の新協約は緊急勅令を以て發布し大体の組織權限等を規定したる上にて韓國法部より事務の引繼を爲す筈なれば早くも明春ならでは實行の運びに至らざるべしといふ

●關税免除の遅延　濟津港を經て間島及渾春地方に輸出入する貨物の關税免除の法律發布後既に二箇月を經過したる今日尚其施行細則すら發布されざる有様なるが北韓貿易業者は何れも去就に迷ひつゝある由にて實施延引の理由は目下我外務省と交渉すべき要件未だ落着せざるが爲めなりと云ふ

●梨本宮殿下御日程　梨本宮同妃殿下の滯京御日程は一日御遲着の爲め一日宛順延する由

●韓皇の勅使差遣　韓皇には二十日梨本宮殿下統監邸入御の後侍從院卿尹德榮を差遣し御來京の御禮を申上げ尚公式の御對顔を求めらるべしと

●太皇帝の御使差遣　太皇帝には梨本宮殿下御出迎の爲め二十日朝承寧府侍從金春熙を仁川へ、又承寧府總監趙民熙を南大門へ差遣されたり

●地方費豫算の調製　來る八月迄に内部に提出すべき地方費の豫算編成に就き目下各道書記官は財務監督局長と會議中なりと

●義和宮の漫遊説　義和宮には來月中旬歐米各國漫遊の途に就かるべき旨の意思を近侍の人に洩らされたりと傳ふるものあり

●暴徒大掃蕩實行　渡邊少將の率ゆる混成旅團は近々暴徒の大討伐を行ふ筈にて目下準備中なるが南韓方面に於ける暴徒は却々猖獗を極め居れりと

●間島に支那兵侵入　間島に於ては近頃支那兵頻りに入込み既に六千人に達したる由なるが其筋に於ては之れに對する相當の用意ありと

●愛國婦人臨時集會　愛國婦人會臨時集會は梨本宮殿下御入京御豫定變更したるも豫定の通り二十二日午後

●厚昌地方の大洪水　鴨綠江に流るゝ厚昌郡中江鎭近傍にては十七日より河水增水の爲め交通杜絶し今尙ほ恢復するに至らず

●開城人蔘の取締　度支部にては來月一日より開城に於ける人蔘盜難を警衛する爲め十四名の請願巡査を請願したるが警務局は短期練習生中より選拔し請願に應ずべしと

●東拓の水産事業　東洋拓殖會社にては過般來水産業の調査に從事しつゝありしが水産局出張員の調査と相待つて投資上の方針を定め遠からず發表する筈なりといふ

●寺院取締と觀察使　寺院の取締に關する多數觀察使の意見は寺院の取締は觀察使監督の下に措き重大なる處分に就きては之れを内部大臣の指揮に俟つことに在るが右につき目下内部に於て取調中なりと

●學部と教監會議　學部にては教監會議及び夏期講習會に列席せしむる爲め二十一日柳田事務官を大邱及び晋州に小田書記官を水原に又二十二日は隈本書記官を平壤、新義州に出張せしむべしと云ふ

●法權實施の費用　現今法部に於て要する費用は年々二百萬圓なるが此内百三十万圓は日本より無利子無期限にて貸付し居れるものなれば協約實施後に於て日本の支出する金額は國庫の出納に幾何の影響も與へざる由なるが今後の擴張は別問題なりと云ふ

●觀察使會議（二十日）　觀察使會議は警務に關する事項なりしが松井警務局長不在の爲め主管事務に就き協議會を開きたりと

●曾禰統監病狀　菊池大醫院長は十九日統監を診斷したるが病症は腎臟炎の由にて容体案外輕るからずと

●協約と法典編纂　韓國法典の編纂は目下法典調査局に於て調査中なるが今回の新協約に依り日本が全然司法權の獲得を爲したるに就ては其編纂に付從來と方針を異にすべき筈にて是まで治外法權の撤去を豫期して韓國人は固より外國人に迄及ぼすべき豫定に於て編纂せしものなるも今回の協約後韓國人には特別法を施行し日本人及外國人には全然日本法律を適要する筈なれば此方針を以て編纂することに變更せらるべしと云ふ

●貨幣發行高週報　一銀韓國總支店に於ける本月一日より十七日迄に於ける貨幣發行高左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、四六五、七〇〇
銀行券平均手許有高	八〇九、七〇一
銀行券市場平均流通高	八、六四五、九九九
硬貨發行額（七月十七日現在）	四、三六六、六七五
內金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六九一、五〇〇
同　廿錢	七六三、五〇〇
同　十錢	四六一、五〇〇
白銅貨五錢	七八五、七〇〇
青銅貨壹錢	一四〇、八三〇
同　五厘	六三、六四五
金貨　五圓	五〇、〇〇〇

●通信機關の擴張　韓國通信機關を日本政府に引繼ぎたるは去る明治卅八年七月なるが今當時の狀況と現狀に就て當局者の談を聞くに引繼當時に於ける韓國電信線路里程は韓國專用線四百廿里軍隊專用線三百五十八里合計七百七十里に過ぎざりしが爾來四年間の擴張は實に驚くべきものにして現今にては二千七百六十二里二十四町七間二尺即ち約八倍の擴張を示せり又電話に至りては更に甚しく引繼當時は京城のみ其設備あり線路延長里程も二十二里に過ぎざりしが今日に於ては市内の部六百四十四里二十町四十八間一尺市外の部三百四十里三十五町五十七間ケーブル延長六里廿二町四十間、同心線六百七十二里即ち四年間に八十二倍の擴張を示せりと

●上半期獸疫の數　本年一月一日より六月三十日に至る本年上半期に於て發生したる獸疫の總數は一千五百八十三頭にして内牛疫千三百三十五頭炭疽二百六頭流行性鷄口瘡十四頭豚疫二百八十頭狂犬病十五頭其他病名不明の獸疫三十三頭ありして因に記す牛疫は咸鏡北道にのみ發生したるものなりと

●學部と觀察使會議　去る十七日内部の觀察使會議席上にて俵學部次官は教育に關する一場の訓示を與へ次で學部專管事務に就き打合會を開きたるが各觀察使は教育に關する事項は國民教育に至大の關係を有し延て國家の消長に係はるを以て再應の開會を希望したるに依り二十一日午前十時より學部に於て右專管事項の協議會を開き一般教育に關する各觀察使の意見を徵すべしと

●判檢事身分保證　日本の裁判官は憲法の保證に依りて終身官たる身分を有し上官の命を以て減俸又は轉任を命ぜらるゝことなきものなるが今日韓國の裁判所に奉職せる判檢事は此身分に就き疑問の存するものあるに依り協約の發表後愈々組織の決定せらるゝ時には日本の法官と同じく同一の規定を明記する筈なるが今日と雖實際上に於ては確實に保證せられ居れりと云ふ

●材木商の聯合運動　統監府營林廠にて鴨綠江の木材を輸入し龍山に出張所を設けて統監府關係官廳及韓國諸官廳の工事に供給を始めてより京仁に於ける約二十戸の木材商は大打撃を蒙りたるが如きは何等の木材商の事とて斯くては到底立ち行くべき見込なしとて同商仲間より五名の委員を撰み其筋に向ひ陳情運動に着手せりと

●畜犬團束と韓民　曩に警視廳令を以て畜犬團束規則を發布したる結果畜主の姓名を木札に記し畜犬の頸部に纏付する事となりたるが一般韓民は之れを以て大なる恥辱となし且犬を飼養する時は將來畜犬税を賦課せらるべき風說盛んなるより畜主に於て畜犬を撲殺する者又は安價にて買却する者頗る多きを以て近時約六割強の減少を見るに至りたりと

●鴨綠視察團立消　鴨綠江流域の利源調査の爲め釜山其他の實業家一團となり視察に赴くべき計畫ある由は既報の如くなりしが折角の計畫も釜山商業會議所に於ける一二議員の反對に依り終に立消に終りたりと

●邦人主事の任命　山口重雄外五名は道主事に任命され二十日の官報にて發表さる

●平壤屠獸場の擴張　平壤屠獸場は一萬圓の資本を以て日韓人共同にて經營しつゝあるが其の事業成績は頗る好況なる由にて今期は二割の配當を見るを得たりと而して同場は今後益々其の業務を擴張すべしと

●群木航路と滊船　政府命令航路の木浦群山航路中なる滊船第八永樂丸及妙見丸の二隻は十八九日頃木浦着の豫定なるが之れにて同社の所有滊船は郡丸運勢丸と合せて四隻となるべく中都丸妙見丸の二隻は命令航路に當り運勢丸永樂丸の二隻は榮山浦航路に當り毎日往復すべしと云ふ

●海産肥料の新販路　海産肥料として釜山港より干魚の如きを日本に輸出する數量は統計無き爲め具體的に表はし得ざれども隨分多額にして其販路は大坂、神戸、四日市等の商人の手を經ず直接東京に輸出されたるが今回大坂、神戸、四日市等を經て東京に輸出されたるが今回大坂、神取引せんとて商業會議所の手を經て東京に於ける重なる海産肥料問屋を調査中なりと

●龍山小學校の竣工　九月竣工の豫定なりし龍山小學校は請負者の精勵に依り工事大に進捗し殆ば竣成したるを以て過日來移轉に着手したりといふ

●平壤日々新聞休刊　平壤日々新聞は社内に内訌起りし爲め之を處理すべく當分の間休刊する由

●全南新聞の再刊　同新聞は暫らく休刊中なりしが十五日再刊したり因に同社長は加藤鎮三郎主筆は早川峡東氏なりと

●漢城病院の披露宴　漢城病院長安藤一郎氏は同院開業披露の爲め京龍の官民數百名を招待し二十四日午後六時より京城ホテルにて披露宴を催す由

●貞慶民會の總會　十八日中部樓洞普光學校に於て貞慶民會總會を開き重要問題六件につき決議したりと

●小松書記官の引籠　小松外務部長代理は兩三日前より病氣の爲め引籠中なりと

●梅博士の歸東期　十七日入京したる梅博士は約二週間滯留歸京の筈なりと

●コールブラン氏渡日　コールブラン及同夫人は十九日下仁海路神戸に向へる由

公人私人

▲池田嘉吉（一銀元山支店支配人）支店長會議に列席中の處十九日歸元

▲武知正胤（愛媛縣辯護士）三日月に投宿中同日平壤へ

▲森本俊之助（水原林業事務所長）同日歸原

▲三増条吉（馬山理事官）十九日歸任

▲大枝義衲（城津副理事官）同上

▲森肇（代議士）二十日平壤へ出發

近事片々

▲今回の日韓協約に就て米國に於ける評判は至極穩かにて何等の反對說なし是當然

▲米人一般は今回の日韓協約を以て韓半島合併を完成する爲に一步を進むと觀察す

▲最も韓國に關係深き米國にて斯く觀察して怪まず其他列國の意向推して知るべし

▲曾禰統監は伊藤前統監に比して一層徹底主義を執ると米人觀察す然り適當の觀察

▲祖國の新聞は曾禰統監が一度決せし事は必ず斷行の宣言に日韓吏員警戒すと記す

▲斯る斷平たる宣言の有無は片々未だ耳にせざるも斷行は由來曾禰子の長ずる所也

▲要之韓人側の新統監評は底の知られぬ氣味惡き心地すと云ふ斷は渠等の恐るゝ所

▲伊公歸朝して天恩益々優渥參内の折には儀仗兵を附せらると公の光榮此上もなし

▲韓太子東北巡遊も伊公の歸朝と共に日程定るべし公も亦多忙なる哉御役目御苦勞

▲韓美電鐵の同盟罷工は曲高留佛蘭にあるが如し徒に我執せず交通斷絕は甚だ不可

▲駐清米公使の選任定る市俄古にて有名なるクレーン會社の創立者クレーン氏也と

▲大統領氏が駐清公使の撰任には非常に注意を拂ふ漸くにして此適任者を得たり

▲タレーン氏は頗る露國通にて兼て東洋の事情に精通し而も商的觀察は獨得の者有

▲帝國の對清外交は甚だ行惱み近頃稍々悟りて強硬の態度を取る多少の發展を見ひ

▲伊集院公使は安奉線問題に就て清政府に警告を與ふと果して警告に應ずるや否や

▲英國にては婦人撰擧權問題八釜しく女政客の運動頗る盛にして突飛の行動ありと

▲婦人連首相アス氏に迫る面會を謝絕すれば其外出を待受けて腕に縋りてやいのやいの

▲富豪ロスチャイルド男の自殺は世人をして異樣の感を抱かしむる何故の自殺ぞや

▲富者往々貧者の知らざる苦勞に煩悶す世の金一方に走る貧は少しく反省して可也

▲此頃はいやに暑い [illegible]

……を加へらるべし……外に派出所事務官の……

▲金貸……同北道……郡外一名 ▲黒鉛 同道……郡
▲金鑛 同道……郡七十一萬三千三百三十坪 京城中部貞善坊 李炳模 ▲黒鉛 忠北懷仁郡二十六万七……官舍東南方漢江……由

●顧客を愚弄する丸京呉服店

▲破産と閉店を常手段とし
▲割引賣出で客を釣り込む

京城本町四丁目に杉本事丸京呉服店と云へるあり、僅か昨年三月と覺へしが一度閉店と稱して破格の賣出しを爲したるにも不拘一時閉店せし如く裝ひ約一ヶ月を經て再び開店し爾來年中殆ど毎月の如く種々なる名目の許に割引賣出を爲し慾深き顧客を引寄せてイカサマ物を掴ませ居る事の如何にも冴かしければ本社員は精探を重ねたる結果同店が如何に奸手段を弄して顧客を欺きつゝあるか如何に不正手段を取つて同業者に損害を與へつゝあるか又如何に其内幕が紊亂せるかに付き大に調査する處ありたれば以下號を追ふて同店の亂脈を連載し以て被害者の一人にても少なからんことに努めんとす

▲閉店せし理由 丸京呉服店は本店を京都に構へ其支店を廣島に設け尚ほ其出張所を當京城に置き一時中々羽振能く見せ掛けたるも元來確實なる資力と信用とを有する商人に非されば、只一時の山師的たるや勿論にして斯の如き到底永續きすべき筈なく遂に京都なる本店は破産の結果之を引拂つて廣島の支店に移りしも之れも遂に維持するを得ず多數の債權者に迷惑を及ぼし同店の品物の大半は、窃かに當地出張所に運ぶ準備として、さてこそ昨年三月當地出張所を閉鎖すると稱して滅茶々々の投出しを開始したり、されば慾に目の無き、利々盲者共の人氣に叶ひ何ならずして其大半を賣り盡し一先つ門戸を閉鎖したるも、其が爲め他の眞面目なる同業者の直接、間接に蒙りたる損害は決して尠少ならず然るに一時門戸を閉ぢたるは全く閉店するの意に非ず只前記の如く破産に瀕せる廣島支店より多數の品物を當地に運び甘々と廣島の店を空穴となし、以て多數債權者の手前を誤魔化し、さて同支店詰たりし杉本鹿太郎を御大將とし現支配人の小花賢等を之に附隨せしめて當地に來り昨年五月「御客樣の御勸めに任かせ再び開店の運びに至りました」と、詐れ出したり何處の何人が彼等に開店を促せしや、自分勝手の理屈を附け表面の體裁を裝ひたりとて其内幕に至つては實に右の始末に因由するものなり如何に小商人根性とは云ひながら其圖々しさ實に呆るゝの外なし(續く)

●電氣會社の冷淡

▲同盟罷業の一原因

電鐵運轉手の同盟罷業の擧に出でたる事は既報の如く而して同盟罷業は今尚ほ續行されつゝあるが今其一部の原因なりと云ふを聞くに彼等は平素會社の取扱冷酷を極むるより豫ねて少からざる惡感を抱き居りし其不平遂に今回の擧となりたるものにして金錢問題は唯一の原因に非ず、現にコールブランが保證金返付慰勞金給與の約をも實行せず本國に引揚げんとするや同社のモーリスはコールブランは今回失敗の結果會社を日本人に賣却して歸國するものなれば充分の手當等を給する能はざるも相當の事は自分よりなすべしといふや車掌以下は金は必らずしも受取るを要せざるも今回會社の讓渡に際し一言の挨拶も無く我等の處置に就きても何等の説明をだにせず殊に某官署よりの問合せに對し我等が引繼を不平に感せりなど無根の事を回答せるは甚しき冷淡專斷の處置なりと大に激昂して答へたるに依りても知らるべしと或人は語れり

●警報 風强かるべし低氣壓は長春に在り七百四十五ミリメートルにして北東に進まんとす警戒區域は北部中部なり(二十日午前九時五十分仁川觀測所發)

●飼犬に咬付かる 南山町一丁目雜貨商菅本芳松(九十)は一昨十九日午後四時旭町二丁目山本金三郎の飼犬に咬み付かれしが飼主山本より治療代を出して事濟み

仁川いろ／＼

▲仁川花町三丁目藤本伊之助の娘いと(五)と云ふは一昨日晝頃自宅前にて遊び居たるが其の中姿が見えぬ樣になりたれば兩親は狂氣の樣になりて尋ねたれど遂に行衛不明と成りたれば泣く／＼花町派出所に保護願を差出したるが昨日午前まで尚は發見せざりしと ▲仁川居住熊本縣生れの製鹽業上田儀藏(四十)と云ふは一昨夜花町一丁目飲食店藤野屋事山口さね方に登樓し飮む／＼揚句翌日午前六時頃勘定書に二圓二十五錢と書いて有つたのを見て之れは高い這麼高い勘定は拂はぬと駄々をこねて支拂ふ模樣なきより其ねは無止く警官に出張を乞ひ漸やく説諭を加へて勘定支拂をさなしめたり ▲仁川龍岡町二丁目酒商洪鳳學なるもの一昨日午後八時頃京町派出所に出頭し只今日本人二名家内に闖入亂暴なし居れば出張鎭撫せられたしと申立てたれば警官現場に出張し取調べたる所右日本人は佐賀縣生れの川久保又助(二十)と云ふものにて數日前滿久保なる韓人に小米を賣り代價三圓五十錢を貸し與へ置き一昨日催促に赴きたる所言葉の行き違ひより頭を一ツ毆り飛したる事判明したれば説諭を加へ双方引き取らしむ

●杓で頭を割る 本町五丁目岡本呉服店へ一昨十九日東部東門外李千孝(三十)が茄子を賣りに來りしに同店員青木昌次(十九)は聊か韓語に通せるを以て不用なる旨を告げしに李はなほも進め居たれば面倒なりとて杓を以て水を浴せければ茲に端なくも口論を惹起し青木は手にせるトタンの杓にて李の頭部をシタゝカ毆打し疾病休業一週間に至る傷を負はしめたるが治療費を出す事として事濟み

●正直なる朝鮮人 當地初音町居住梁有楨(四十)は去る十五日午前九時頃新町西方の高地義和宮所有地に於て靴下一足、檢印一個、遞信省門鑑及郵便貯金通帳を拾得し同所派出所に屆出たりと

●中檢から義太夫 大阪生れの福田ふじとて曾て仁川笠亭に豐助と名乘りし義太夫藝妓は一昨日中檢より蝶八と名乘つて現はれたり同妓の義太夫は當地の花柳界には他に比類なき程達者なりと云ふ

……ボ記などは恰好なものです、猶は其他經濟政治諸方面に渉つて一冊子となしたものは一寸氣付きませんが要するに同書肆に就いて御照合なさる事をお勸めします、更に最も手輕なのは讀み終つた新聞紙を順次御綴込になれば漸々其一般は御了解出來ると思ひます(係)

◎問 私は昨年清國にて料理店を開業中酌婦として雇ひ入れたる中の一人逃亡せしに付口入屋に談判せし結果清國警務局にても捜索し呉れられたるも行衛不明なりし、此れがケチの付き初めにて遂に閉店の止むなきに至り同地を引き拂ひ渡韓致し困窮致し居ります、處が或る人の云ふには以前逃亡した女今は元山に在りて相當の人の奥樣となつて居るとのこと故其前貸金を催促致し度希望なるが當時の料理店組合規約に準據せし證書に保證人として口入屋が捺印したものあるも一層の事思ひ切つたが宜いか督促したものか、私も稼業柄昨年中は兎に角只今の所僅かの事で心を鬼にして他人に迷惑を掛けるでもなからうかとも思ひます如何致したら宜敷や(於仁川一生)

◎答 遠慮なく督促せらるべし、貸した金を請求するのは權利である、何う云ふ事情で逃亡したのか知れないが夫れは夫れ是れは是れだ、人に迷惑をかけて氣の毒とも思はず居る樣な人間共は其の權利を行使して苛め付け玉ひ、貸した金を催促するのが鬼ならば借りた金を返さぬ奴は何んだ行り玉へ、併し此所に注意することは權利を行使するに冷酷に陷らぬ樣することです、取れる目的があれば行り玉へ(係)

演藝

△歌舞伎座 本日の替りは「嗚呼此妻子」全十一場にして役割左の如し

深尾夫人后に藝妓雪江(西井)藝妓仇八(本田)下男藤五郎(美崎)醫生水田一夫(河野)馬丁吉造(玉川)玉路曹長(中村)紳士園田増雄(大和)吉川將軍(松村)陸軍中尉篠崎(間宮)從卒村上小谷)兵卒大野(天草)深尾剛三(愛澤)記者中野(三島)勝次郎(角村)小間使靜江后に深尾夫人(桂木)兵卒柴山(鈴木)幇間初孝(後藤)

相談の相談

(何んでも御相談に應じ升)

◎問 小生は渡韓以來日も淺く唯二三日前に入京した計りですが就ては骨肉を分けたる兄弟に勝る最愛の友人を郷里に殘して置いて參りまして實は之に一寸韓國一般の状況を報じたく思ひますが何分にも昨今入京した計りにて至つて一般現今の状況に就ては暗いのですから御面倒ながら御知らせ下されば幸甚々々(十七日在京愚生)

◎答 何程小さくとも一國の一般現況が單純なものではないので困りますが、此所に相談欄中で御答へ出來る程に簡易なれ答へは出來かねますが風俗等の一般ならば……は本町二丁目の日韓書房で發行せられた……(係)

平民文庫

▲れ國自慢の投書を募集せられては如何僕は埼玉縣鳩ヶ谷町の者です是れと云つて自慢の種がないが赤諸位ひぢや幅が利かぬ他に何かないかと考へ中(だんべい) ▲れ國自慢面白し僕は靜岡だ一には富士、二には三保の松原、三には興津の小櫻鯛、四には山葵の粕漬及び味淋づけ迄は誰れでも知つて御坐るが鯖の甘露煮と來ては知らぬ方が多かるべし松本君平朝臣は駿河の產にあらずや間違へられては困るから(受付係) ▲太平町の永樂亭……ある上に十何名の女達が雜然と入り口の所へは一寸這入り惡い燈灯をカン／＼點けても二の足を踏む彼しだ商賣家では入り口を少し暗い位ひにして置く方が得策でせうよ、(注意子) ▲石井洞八は酌婦や仲居に往來……で挨拶され又は姓名を呼ばれるのは迷惑だと云ふ私は君が人間らしい所あるに目込みがあると思ふ近頃の紳士は如何にしたら公爵の席などで他人より以上に藝妓仲居にチヤレ付かれるかと云ふことを研究して居る位だ、と云へば藝妓と酌婦とは違ふと云ふ人があるかも知れぬが第三者の眼から見れば格別違ひはない(山犬) ▲大韓日報發起の日韓理想團を歡迎する、近頃の好快擧たるを失はぬ(理想男子) ▲十八日の夜九州旅館へ投宿しようと思つて參りましたら狸のれ化けの樣な尨犬が踏み石の上に打き付けられたやうな格構で寢込んで居たので吃驚して引つ返して藤隈と云ふのに投宿しました(へ渡來者) ▲長谷川町の加藤と云ふ湯屋は朝鮮人湯であつたが新規に手を入れて大變美麗にした(長谷川町人) ▲下駄屋の娘は其後芝居見物に行かれませんよ(近所の娘) ▲明治町の鉱力屋の時計は半年から止まつたまゝにしてある隨分時計も根が好いが主人も根が宜いそれにしても彼の時計を動かせば祟りでもあるのか知らん(不審男) ▲紳士の遊興振りは休まず出して下さい、私の主人なども何んな事を爲て居るか明瞭になりますから主人も注意する樣になつて安心が出來ます(れ顯女) ▲旦那樣のれ名が分れば繰り合はして早く掲しますが分らないから順に出るのをれ待ちなさい(文庫係)

●紳士の遊興振 右は紙面の都合に依り本日休載

●天氣豫報(自二十日午後六時至廿一日午後六時) 南西の風曇少雨
十九日(華氏) 最高溫度 八六、〇 最低溫度 七四、三

廣告

明治四十二年七月二十一日 京城新報 (水曜日) 第壹百六十六號 (第三種郵便物認可)

各種洗濯石鹸 専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

入用部

●専賣特許 鞄兼用の旅行枕韓國分權の希望者を需む 氏名在社(二九七)

●實用新案 携帶至便の旅行用硯の韓國分權希望者を需む 氏名在社(二九八)

●被雇度 年廿五体強精米業多年經驗京仁間精米所に雇はれたし確實保證人有 氏名在社(二九九)

●中等敎育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし 氏名在社(三〇一)

●年卅五多年電氣工務(又簿記精通)の經驗有り市内保證人有り相當處に雇はれたし 氏名在社(三〇二)

●望外人女中 外國人の女中又は小供守に被雇度年廿四体健給料不望 氏名在社(三〇三)

●被雇度 簿記に精通の中等敎育ある二十才の青年會社銀行店舗等被雇度給料不望保證人あり 氏名在社(三〇四)

●小僧入用 十四歳以上十七歳以下のもの一名至急入用委細面談 大漢門前遠藤洋服店

●下女入用 十六七歳より廿三四歳迄のもの飯名入用 南大門通 紅葉

●行商人募集 石油行商人二十五歳以下身体强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三日韓組(三〇七)

●英文代書 通譯應需 本町一の七五中村

物件部

●夏向露店 旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込あれ 氏名在社(二九五)

●電話格安賣物あり 氏名在社(二九六)

●電話讓渡 格安又は月賦讓渡の相談に應ず 氏名在社(三〇〇)

●蓮縄機械廿臺○縄絲機械○藁打機械一臺安價に賣却す 大和町二の二一九 渡邊方山本

●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したり 氏名在社(三〇六)

●地所賣却 第一銀行建築場に接近せる大道目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり 本町一の七五 中村

廣告

梅毒皮膚生殖器専門治療●診察無料

梅毒りん病
かんそ●よこね●陰莖皮かむり手術
神經衰弱
生殖器病 記憶力減衰 陰萎遺精夢 早漏陰莖 發育不充分
皮膚病 いんきん●たむし●ひせん等
わきが●ぢ

東京淺草花町 廿八淺草播通 花町停留場横 中央醫院
遠地患者は病狀を記し郵便切手六錢を送れば療養書を送り尚は藥劑部發行の專門新藥說明書を送る

入院隨意
内外科 小兒病 梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
高井醫院
京城壽町三丁目 電話(二一六)

鑛物鑑定及分析
本所は江湖の依頼に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手數料は郵券一錢五厘御送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分析署技師粟野德一
鐘路通 丁目
漢城鑛物分析所 (電話二三八番)

最新形堅牢無比
製靴和洋製皮販賣



●本紙切拔御注文の方は特に定價の二割引郵送無料
キット皮製 深ゴム 編上ゲ 上等 七圓五十錢
ボックス皮製 同 中等 五圓五十錢
キット皮製 半長靴 九圓也
ボックス皮製 同 七圓五十錢
統監府御用 鬼笑堂靴店
東京市麻布區永坂町 電話新橋三九四二番
御注文の節は御申越次第寸法用紙御送付可申上候

仁川[回] 大改良精米販賣廣告
謹啓各位愈御清穆奉賀候弊店儀多年各位の御引立を蒙り日増し隆盛之域に進み候段難有奉鳴謝候随而今回特に原料之撰擇に力め兼て特約せる仁川[回]奥田精米所に於て特等米を精白とし汎く江湖の御高需に應じ可申候條從來の精米と如何に其品質の佳良なるかを御試めし被下多少に不拘御用命仰付られ度奉願上候
仁川奥田精米所特約販賣所
京城本町二丁目
米穀 石油 酒醤油 木炭 卸小賣商
(滿) 本田商店
電話四八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長一〇七番)

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

手撰石拔磨擦特別精白米
米利堅粉菓子粉洗粉諸穀
櫻麥挽割麥豆類其他雜穀
宅合名會社釀造清酒特約
茂木醸造木白印醤油特約
大日本麥酒會社製品特約
洋酒洋菓和洋罐詰瓶詰類
宇治銘茶紅茶コーヒー類
味噌漬物砂糖乾物海産物
眞綿小袖綿延綿蒲團綿類
雨傘廠裏足袋石鹸諸雜貨
京城明治町一丁目
牧野豊田商店
附屬工場 牧野精米所 牧野電力製粉所
(電話二五三番)

登錄商標
外用塗擦 治癬藥
○せんしんたむし○なます○せにがさ○いんきんたむし○しらくも○くさかぶり○みずがさ○みずむし○ひせんがさ○がんがさ○しもやけ○うるしまけ
最大瓶 一圓二十錢 大瓶 六十錢 中瓶 三十五錢 小瓶 二十五錢
其他皮膚病一切に特効あり
右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓効あり從來此により回春の幸福を得たるもの遠近老若其數多し今回大方諸君子の懇請默しがたく材料を精選し輓近の醫學に照らし加味鹽梅調劑を正確にし官許を得弘く世に發賣せんとす世の皮膚病に悩める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候
調劑發賣元 韓國京城南部壽町一丁目浦尾旅館
仁風堂 浦尾きち

梅毒 りん病 リウマチス 新藥
毒滅
本舗 大阪 森下博藥房
各醫院衛生試驗證明

完全ナル懷中藥
THE JINTAN
仁丹 ジンタン
醫學博士三輪井上兩先生御方劑
代理店
京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番
京城本町三丁目 新井藥房第一分店 (電話四七八番)
京城南大門外 新井藥房第二分店

馬車配達
●滋養と牛乳● ●衛生と消毒●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味とを特色として下宿御扱の懇切營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路 (元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

新茶賣出し
卸 小賣
京城本町五丁目
富士の里茶舗
電話九九七番

消閑之清遊
毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城明治町一丁目
京城碁會 (大和湯前○万隣)
市中之仙境

焦心單志多年爲斯道難於徹義
奥旨恍然似有得者匪鑑推斷
啖啖洋辭愈涵腸索面輕蔑也
易斷觀相敎授
京城本町五丁目
三一館
通信判斷一件一圓特別二圓

自製特約販賣
漬物 味噌 醤油 製造元
京城本町五丁目
和洋酒、[回]精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候
大上商店 (電話二五一番)

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞製版 諸帳簿 製本裝訂
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱[illegible]
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

東京
正札付 大安賣
厘も引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目日の出橋横
藤井出張店

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏 (電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白消化 脂肪消化 ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)一圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

明治廿年七月創立●京城代理店 本町四丁目山口吳服店 電話九番
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

工場新築落成に付當分の間二割引
軸物表裝 金銀屏風 額面換一式 襖張天井張
古香堂

◎氣候變化=牛乳
◎牛乳=純良=消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番 山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番 中村運送店

消毒 純良 滋養 牛乳
荒井牧場
電話一〇五六番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話二九番
郡回漕店 電話十番

●釜山長崎門司神戸行 [illegible]丸 八月一日午後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 八月五日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月[illegible]日午前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 七月二十二日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 七月二十八日午後

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金卅五錢 三ヶ月前金[illegible] 郵稅一ヶ月[illegible]
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三